



# Kainan East Rotary

DISTRICT 264

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 3-0800

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣ 1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所 4F

会長 土岐甚五郎 幹事 中尾公彦 会報委員 広野・谷口・大川・中道・片山

才403回 例 会 昭和58年10月3日(月) 午後 12時30分 於 海南商工会議所

1. 開 会 点 鐘 土岐甚五郎会長
2. 国 歌 斉 唱 「君 が 代」
3. ローターソング 「我等の生業」
4. ビジター紹介 金川光弘様 (有田R.C.) 森泰皓様 (海南R.C.)
5. 出席率の報告 会員総数 54名 出席者数 49名 出席率 90.74%  
前回修正出席率 90.57%

## 6. 会長スピーチ

皆さんこんにち、涼しかった日が少し続きましたが、今日は又暑さがぶり返したようで、真夏のような感じになってございます。

今日は、公式訪問と云う事で、東條ガバナーと地区幹事の堤さんが、出席されてございます。

「われわれロータリー活動の運営について、それからR.I.会長のシェアロータリー、いわゆるロータリーの会合を殖やして行こうじゃないか、と云う主旨に関して、そのプロジェクトの方法、それから地域社会の為に ServePeople ニーズに答えて、どう云う立て前で奉仕すればいいのであろうか、と云うようなお話を皆さんの色々な御意見を聞きたいと、そして私の意見も申し上げたい」と云うように東條さんは申して居ります。

今日は又、30分程東條さんのお話を伺う訳でございりますが、皆さん御存知だとは思いますが、少しガバナーの御略歴を簡単に御紹介させていただきます。明治45年6月12日のお生れです。名刹の大本山、犬鳴山の管主、大僧正として活躍なさっております。ロータリー歴は、昭和36年泉佐野ロータリークラブ創立会員でございまして、以降23年間各委員、役員等を歴任され、今年度ガバナーに就任されました。

今日は、丁度ガバナーの公式訪問を前にしまして、先程から推薦が出ておりました池原君を新入会員として、迎える事になってございます。

申し遅れましたが、本日は金川さん、森さんようこそおいで頂きました。

これもちまして、御挨拶にかえさせていただきます。

◎ この後、池原君を推薦して頂いた柳川さんから御紹介がありまして、その後会長から池原君に、バッジの贈呈がありました。

## 7. 幹事報告

- 例会時間・場所 臨時変更のお知らせ  
海南R.C. 10月19日(水)→10月22日(土) 午後6時～温山荘大広間
- 認証状伝達式のご案内  
野洲R.C. 11月13日(日) 野洲文化ホール
- 才264地区 才4組 I.G.F.のご案内  
堺東南R.C. 12月3日(土) 堺市立泉ヶ丘市民センター3F

## 8. ゲスト卓話 東條仁進ガバナー

池原さんおめでとうございます。

ロータリーの為、地域社会の為に頑張ってくださいと思います。始めの入会の時と云うのは、いつまでたっても忘れないものです。ひとつ楽しく愉快地気を楽にして頂いて、早くクラブの方々に解けこんで頂いて、友達になって頂きたいと思っています。おめでとうございます。

今、会長さんにお渡しして居りますが、ポールハリスの写真と、スピーチのノシートを持って来て居ります。私は国際協議会に出席する前に、エバンストンのR.I.中央事務局を訪れました。中央事務局と云うのは、1910年にシカゴに出来ました。そして、現在地に1954年8月16日に移転したのであります。ポールハリスは、3人の友達シルヴェスター・シール、ガスタヴェス・ロエーア、ハイラム・ショーレイ、とこの4人等で語って出来た訳なんです、出来てからと云うものは、ポールハリス自分自身で、一切合切の事務をやっていたものですから、くたびれて疲労の極に達していました。そう云う所へ、有能なロータリアンが入って来ます。それは、チェスリーアール・ケリーと云う人で、1908年の事でありました。同じくその時に入会したのが、アーサー・シュルドン、この2人が結局ロータリーを支える事になるのですが、その1910年から6回位、場所を交代して居り、今の現在地エバストンに移った訳なんです。

現在そのエバストンの中央事務局から、世界に5つの支局が出来て居ります。1911年には、ロンドンクラブ、エジンバラクラブも出来ていると云う関係で、欧州に手を延ばして行かなければ、と云う事で、ポールハリスは、イギリスを中心として新クラブを結成した訳です。そう云う関係もありますので、スイスのチューリッヒに1925年に出来ます。その後、1980年にスエーデンのストックホルム、1981年にオーストラリアのシドニー、同じく1981年にブラジルのサンパウロ、それから東京の支局と云う、5支局が出来たのです。

われわれ国際協議会へ出席する前は、必ずエバンストンの中央事務局を訪れる事になって居ります。そこへ行きました所、新前のガバナーに色々な事務局の仕事を見せ、今後の事務の運営について協力し合う、と云う見学をする訳です。

日本の一行26名と家族同伴ですので、52名のものが行った訳です。始めての人が多かったのでしょうか、皆写真を写して居りました。私は、何かいいものがなかろうか、と見て行くと、コミュニケーション局と云うのがありました。

大体中央事務局は、7局から出来ている訳で、運営奉仕局、コミュニケーション局、人事及び総務局、財務局、プログラム開発局、それから奉仕局、これは我々地区の奉仕局なのです。向うの運営奉仕局は、R.I.会長以下、理事の奉仕局なのです。それからロータリー財団事務局と云うような支局で出来上って居るのですが、一番問題になるR.I.文献を扱って居ります所のコミュニケーション局

へ行きました所、ポールハリスの写真と、ソノジートを見つけた訳なんです。そこには東京の支局長が居りまして、なんとかこれを分けてくれないかと頼みまして、送って頂く事になりました。

実際、ポールハリスの肉声なんて聞いた人はあまり居らない。1935年に日本へ来て居りますけれど、その2年前の1933年、ロータリーが出来てから28年目のマサチューセッツ州のボストンにおいて、国際大会があります。これはその時のスピーチなのです。今から50年前のスピーチになるのですが、ポールハリスの何百回の公演中では、一番白眉なものと言われて居ります。その中にポールハリスが、ロータリーの創始者である事は皆さん知って居りますなあ。それを建設して行ったのが、チェスアールペリナムなのです。彼は、現在の国際ロータリーの体系作りをした人なのです。中央情報交換所としてのR. I. 事務局の立場をとり、そして彼は広くPRする為に、ザ・ロータリアン誌を1911年に編集しまして、初代の編集局長となって、1929年退職するまで18年間、ロータリアン誌を編集して居ります。彼は、そう云うふうにして1910年に事務総長になって、ポールハリスを助け、32年間職責を果たした訳なのです。1942年に退職すると同時に、自分のホームクラブである所の、シカゴロータリークラブへ帰ります。その会長をやる訳ですが彼は非常に手紙まめな人になり、「ロータリアンは、手紙が来たら、24時間以内に返事を出さなければ、ロータリアンではない」と云う説をたたえました。そして彼は、24時間以内に返事を出す事を、モットーとして居りました。

1960年2月21日の寒い日でしたが、手紙を書き、返事を書いてポストへ入れに行ったら帰り道で倒れ、それが最後だったのです。88才で死んだ訳です。彼の偉大なる功績と云うものは、拭いきれないものです。

1910年に始めてアメリカに16のロータリークラブが出来、全米ロータリークラブの大会がシカゴで行われます。その時拡大、増強、社会奉仕、この3つのテーマをポールハリスは出して居ります。拡大と云う事で1910年の暮にカナダに出来て居ります。1908年アーサー・セルドンが、ロータリーに入って来ます。彼はロータリーを見た所、社会性がなく互惠主義だったので、これではダメだと云う事で有名な金言であります所の「HE PROFITS MOST WHO SERVES BEST — 最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」この金言をポールハリスに出す訳です。そして、始めて「奉仕の思想」と云うものをロータリーに取り入れたのです。

1911年には、ミネアポリスにロータリーが出来ます。その初代会長が、フランク・コリンズだったのです。彼は、活気と、親睦と、和楽を与えると云う意味で例会が月1回では親睦にならないので、週に1回の例会にしようと思ったのが、コリンズの節であった訳です。コリンズは、「自分の事はほっとけ、人の事をやって居れば、必ず報われる」と云う思想なんです。それを聞いたポールハリスはこれは面白いと云う事で、この思想も取り入れます。それが「超我の奉仕」で、いわゆるロータリー精神と云うものなのです。そして、アーサー・セルドンがロンドンへ行くと云うので、チェスがポールハリスに、ロンドンにクラブを作るよう頼み、セルドンはロンドンへ飛びます。そこでロンドンにクラブを創立し、エジンバラのクラブもこしらえて、欧州に拠点を次々としらえて行ったのです。アーサー・セルドンは「奉仕の思想」をロータリーに持ち込んだ人ですが、非常に忙がしいものですから、自分のクラブに出席する事が出来なくなり、その為にシカゴロータリークラブを退会します。そして彼は、ロンドンクラブの名誉会員におさまり、その後は分りません。

一方、コリンズは、才1回のミネアポリスの会長をし、その翌年に接待委員長をやります。1912年ダラスの才3回国際大会には、大会の接待委員長に任じられ

て居ります。そう云うふうにしてチェスが体系作りをし、ポールハリスがロータリーと云う設計をし、建築をしたのがチェスでありました。そして、奉仕の理論を持っていたのが、アーサー・セルドンであり、フランクコリンズである。この3人が基礎となって、今日のロータリーが出来上ったのです。そのロータリーのチェスが、ソノシートに紹介して居るのです。ソノシートを一度ご披露したいと思います。「28年西部で生れ、ニューイングランドで育った一人の弁護士によって、最初のロータリークラブがスタートしました。黄金則（己のしてほしいと云うものは、人に施せ）を持って、友愛と共同を實踐して行く、職種の男性によるグループを造るといふ、彼の発想でありました。そのクラブからロータリーの世界的運動が生れたのです。その弁護士は、今もシカゴに住んで居り、今夜はここに居ります。皆さんご紹介致します。ポールハリス氏であります。」といういいだして、ポールハリスが、1933年のボストンの大会のスピーチをやった訳です。その時のテーマが、増強と社会奉仕だったので。今回の「Shear Rotary Serve People」に居いてでも、ロータリーの活性化を目指した訳なのです。なぜ、活性化を目指したかという、アメリカにおいても、ニュージーランドにおいてもオーストラリアにおいても、世界三大の国際奉仕の盛んな所の国なのです。

規制会員が12%も落こんでいって居ります。去年までに1060人の会員が減ったそれではいけないという事で、12,000人の会員が増えるが、これは536の新しいロータリークラブが出来たからであって、世界の会員が減っていったのは、不景気であったからです。1929年にも経済恐慌がありました。そして、その時分に横浜のクラブが出来た訳です。1942年以前に、才二次世界大戦があり、今回が才3回の危機になって居る訳です。

今、国際奉仕が盛んで、社会奉仕が衰えているのが現状です。ロータリーというのは、お互いに仲良くし、新しい明るい地域社会を造るといふのが目的である。そういうものの種まきをする為には、ロータリアンの力が必要です。ポールハリスを除く、誰かが推薦されて、ロータリアンになった訳なのです。

自分自身は、誰かに推薦されたからなので、自分も誰かを推薦するという義務があります。そうしてお互いに友情の手を差し延べて、ロータリーというのは友情・親睦・善意・奉仕、この上にロータリー運動というものが回転していって居るといふ事をよくお考え願って、ただ増強するだけでなく、ロータリー精神の種まき、明るい所の社会を造るといふ眼目の為、会員増強をやっている訳で、これをよく御認識願って、頑張ってくださいと思います。今年53名ですから、4名順当出来たらR.I.会長賞の候補になりますなあ。頑張ってください。有難うございました。

#### ニコニコ・米山・BOX

会員お誕生日おめでとうございます

10/14 喜田聡一郎君 10/29 山本有造君

奥様お誕生日おめでとうございます

10/2 池原京子様 10/13 大沢喜久子様 10/14 大川淳子様

10/18 山本育子様 10/25 小嵐登美子様

結婚記念日おめでとうございます

10/4 角谷勝司君 10/6 大沢祥宏君 10/15 坂上充作君 10/15 山野明君

角谷 勝司君 月刊誌がインタビューに来て、創刊号に載せられました

倉橋 利幸君 昨日、黒江小学校の体育祭が、晴天に恵まれました

柳川和一郎君 池原君をご紹介させて頂きました

次回例会案内 昭和58年10月17日（月）PM12:30 於 海南商工会議所

次々回例会案内 昭和58年10月24日（月）PM12:30 於 海南商工会議所